

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更(※)	理由・根拠
① ライフステージにおける切れ目のない支援 ②あさひ学園と児童発達支援センターが協力し、地域の障害児支援の体制強化を図る ③ 関係機関の情報共有、課題整理、連携 ④サービス事業者等の質の向上 ⑤不登校児童の居場所の確保 ☆	◇こども連絡会全体会 ・第4次小牧市障がい者計画の説明 ・関係機関との情報共有・意見交換 ・不登校児童が通える社会資源の確認、整理 ・事業所部会から出た課題、行った活動の報告	P. 34 (5) P. 42 (1) P57 (1) P58 (2) P59 (3) (6)	㊤第1回こども連絡会全体会 6月14日開催 【参加者 21名】 内容 (1) 学校への事業所への送迎について (2) 相談員がいないケースの困りごとについて (3) 学校に通えない児童の居場所の周知や確認について (4) 成長記録の活用について ㊤第2回こども連絡会全体会 令和7年2月7日開催 予定	㊤ (1) 事業所での名札着用や、送迎時刻の変更連絡の徹底を行った結果、事業所側も学校側も共に連携が取れていることが分かった。 (2) 現状はすべての児童に相談支援専門員をつけることが難しく、事業所として、ケースごとに相談支援専門員が必要かどうかを検討する必要があるという意見ができた。 (3) 学校に通えない児童の居場所について、学校教育課のHPで情報が把握できた。 (4) 「成長記録」の説明を行い、周知に繋げることができた。	終了・継続 → 同じ・変更	

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更(※)	理由・根拠
<p>☆続き</p>	<p>◇事業所部会                      ・第4次小牧市障がい者計画の説明                      ・事業所同士の情報共有・情報交換                      ・BCPについて                      ・あさひ学園・児童発達支援センター・相談支援事業所と事業所間の連携についての意見交換                      ・不登校児童の支援について                      ・事業所の困りごと、課題                      ・成長記録の周知                      ・事例検討会</p> <p>☆</p>	<p>P. 34 (5) P. 42 (1) P57 (1) P58 (2) (3) P59 (6)</p>	<p>④第1回こども連絡会事業所部会                      7月11日開催                      【参加者 37名】                      内容                      (1) 事業所間連携加算についての説明                      (2) 「成長記録」の周知                      (3) BCP策定について</p>	<p>④ (1) 市役所より、セルフプランの方に関して、コア連携事業所が、事業所間連携会議を開催していくことを学べたが、会議の進め方や、開催場所についての課題があることを把握することができた。                      (2) 「成長記録」の説明を受け、今後活用していけると良いことを周知できた。                      (3) 各事業所のBCP策定状況を確認し、策定での課題や、研修や、訓練の実施状況を共有することができた。課題として、備蓄品の管理や、実際訓練を行ったことで、避難場所までのルートや、危険箇所など、実際に災害が起こった時の対応にいろんなリスクが伴うことが分かった。</p>	<p>終了 ・ 継続 → 同じ ・ 変更</p>	

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更 (※)	理由・根拠
☆続き	☆続き	P. 34 (5) P. 42 (1) P57 (1) P58 (2) (3) P59 (6)	(4) あさひ学園、 児童発達支援セン ター、相談支援事業 所との連携について (5) 事業所の困り ごと、課題について  ⑧第2回こども連絡 会事業所部会 10月22日開催予定  ©第3回こども連絡 会事業所部会 1月23日開催予定	(4) あさひ学園、児童 発達支援センター、相談 支援事業所との連携状況 を確認することができ た。 (5) 学校への送迎で、 より連携が取れるよう 小・中学校と保護者連絡 サービスアプリ【tetoru (テトル)】を事業所でも 共有できると、スムーズ な送迎ができるという 共通希望を把握し、今後 の働きかけに繋げていく こととした。		(5) 小・中学校と保護者 連絡サービスアプリ 【tetoru (テトル)】に ついては、事業所との共有 は、システムの契約上 できない状況。 (事業所など学校以外と の共有は、有料のシステム となる)
	◇あさひ学園、児童発達支援、放課後等デイサービスの事業所への見学会(対象：こども連絡会事業所部会、日中活動系連絡会、就労支援連絡会、相談支援事業所連絡会の事業所)		あさひ学園、児童発達支援、放課後等デイサービスの事業所への見学会 10月7日～10月25日 (19日間) 開催予定 現在受け入れ事業所募集中		終了 ・ 継続 → ・ 変更 同じ	

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更(※)	理由・根拠
☆続き	◇療育支援事業の活用	P. 34 (5) P. 42 (1) P57 (1) P58 (2) (3) P59 (6)	<p>④「小牧市の切れ目のない支援について関係機関の役割を知る(乳幼児期編)」 5月21日開催 【参加者 38名】</p> <p>⑤「支援の必要なお子さんの就学についての保護者向け説明会」 7月10日開催 【参加者 25名】</p>	<p>④あさひ学園、保健センター、子育て包括支援センター、幼児教育・保育課、学校教育課がどのように親子を支援しているのか、具体的に知ることができた。また、事業所として、各機関とどのように連携をとっていいのか、どの段階でどことつながればよいかを考えていきたいなどの感想があり、切れ目のない支援についての意識を高める学びとなった。</p> <p>⑤「早い段階から学校と関わっておこうと感じた」や、「先輩保護者からの経験を生で聞くことができ、就学後のイメージがついた」などの声があった。グループワークは保護者同士の交流の場となった。</p>	<p>終了・継続 → 同じ・変更</p>	

(※) 次年度も同じ内容で継続、または目的を変えず方法を変えるという意味で変更